

平成26年度登録販売者生涯学習研修カリキュラム

回	時期	講座		内容
第1回	4月～6月	A講座	第1講座	水虫
		B講座	第1講座	薬事関係法規・制度 医薬品の適正使用安全対策
		B講座	第2講座	リスク区分等の変更があった医薬品
第2回	7月～9月	A講座	第2講座	胃痛
		A講座	第3講座	痛みを伴わない胃の症状
第3回	10月～12月	A講座	第4講座	赤十字応急手当
		B講座	第3講座	薬事関係法規・制度 医薬品の適正使用安全対策
		B講座	第4講座	登録販売者として求められる理念、倫理、関係法規等
第4回	1月～3月	A講座	第5講座	漢方製剤
		A講座	第6講座	倦怠感、疲労、栄養不良による諸症状

平成26年度登録販売者生涯学習研修A講座内容

A講座の内容と『今日のOTC薬 第2版』との対応		
第1講座	(初)【チャート】「水虫」:P36～37	
	【成分作用・特徴】「水虫治療薬」:P389～340	
	【解説】「水虫治療薬」:P386～P389	
	【便覧】「水虫治療薬」:P392～P399	
第2講座	【チャート】「胃痛」(胃痛、胸やけ、むかつき、げっぷ、胃もたれ、食欲不振など):P14～15	
	【成分作用・特徴】「胃腸薬」:P143～P145	
	【解説】「胃腸薬」:P136～P143	
	【便覧】「胃腸薬」:P146～P171	
第3講座	【チャート】「痛みを伴わない胃の症状」 (胃痛、胸やけ、むかつき、げっぷ、胃もたれ、食欲不振など):P14～15	
	【成分作用・特徴】「胃腸薬」:P143～P145	
	【解説】「胃腸薬」:P136～P143	
	【便覧】「胃腸薬」:P146～P171	
第4講座	(初)【チャート】「赤十字応急手当」:関連記述無し	
	ケガの手当てを中心に	
第5講座	【チャート】「漢方製剤」:関連記述無し	
	【成分作用・特徴】「漢方製剤」:P563～565	i. 漢方の歴史(古方、後世方、中医学)
	【解説】「漢方製剤」:P560～P563	ii. 漢方的なお客様の状態の把握の仕方
	【便覧】「漢方製剤」:P564～P605	iii. 承認制度と体力表記等の説明 iv. 代表処方をもつて4処方前後説明
第6講座	【チャート】「倦怠感、疲労、栄養不足による諸症状」 :P46～P47	
	【成分作用・特徴】「ビタミン剤」:P508、「滋養強壮剤,ドリンク剤,カルシウム剤,アミノ酸」 P527～P528	
	【解説】「ビタミン剤」:P504～P507、「倦怠感、疲労、栄養不足による諸症状」:P523～ P527	
	【便覧】「ビタミン剤」:P510～P523、「滋養強壮剤,ドリンク剤,カルシウム剤,アミノ酸」: P530～559	

第3次研修における「A講座」の特色とお願い

(一) 「A講座」の範囲

主に以下の分野を学習対象とします。

- ①医薬品に共通する特性と基本的な知識
- ②人体の働きと医薬品
- ③主な医薬品とその作用等

第3次研修における「A講座」の特色は、購入者等の主訴や兆候を手掛かりとして^{※1}、

- i) 第2類医薬品及び第3類医薬品の適用対象としてよい場合
- ii) 第1類医薬品の適用対象として薬剤師への相談を勧めるべき場合
- iii) 受診勧奨を行うべき場合
- iv) 生活上のアドバイスで足る場合等の振り分け^{※2}

を行う過程、小児・高齢者・妊婦・授乳婦・既往歴・受診中の有無・併用薬の有無・生活習慣など、購入者等の背景事情を考慮する過程、医薬品の選定や生活上のサポートをする過程などを、総合的に学習していただくことです。「確認テスト」も、上記 i)～iv) を反映してありますので、学習にお役立て下さい。

研修内容が、これまで以上に範囲が広がる上に、高い専門性を伴うもの(受診勧奨の対象となる兆候かどうか、生活上のアドバイス、併用薬など)となります。ところで、登録販売者は、学習したことを販売実務の中で、購入者等に対して分かりやすい言葉でお伝えしていかなければなりません。また、受講者の中には、登録販売者試験合格間もない方々を始め、様々な学習到達度の方々がおいでになります。そこで、都道府県生涯学習委員長におかれましては、分かりやすい例などを交えて理解しやすい講義を、講師にご依頼下さいますようお願い申し上げます。生涯学習委員会としても、講義を進める上で、使っていただきやすい参考資料がある場合には、お送りするよう努めます。

※1：購入者等の訴えや背景を聞き取り、問題解決のためにアドバイスをすることを「カウンセリング」と言います。

※2：登録販売者は、業務を行うにあたり、上記 i)～iv) の振り分けを行わなくてはなりません。これを「登録販売者のトリアージ」と表します。「トリアージ」は、災害・事故等に際し、最も有効な救命作業を行うための振り分けを表す言葉として知られていますが、今日、「薬剤師のトリアージ」のように、医薬品販売の世界でも、具体的な振り分け業務を簡潔に表現する上の便宜もあって使用されるようになっていきます。

(二) 「A講座」の参考書

参考書は、『今日のOTC薬 第2版(南江堂)』です。

また、使用上の注意の解説書としては、網羅性と価格の観点から、『一般用医薬品使用上の注意ハンドブック(薬事日報)』を推薦します。

(三) 時間は1.5時間で、確認テストの実施時間を含みます。

平成26年度登録販売者生涯学習研修B講座内容

B講座の内容	
第1講座	【④薬事関係法規・制度、⑤医薬品の適正使用・安全対策】 薬事違法改正について地方行政担当者から
第2講座	【⑥リスク区分等の変更があった医薬品】 第1類から第2類に変更になった医薬品（製造販売業者・発売元制作のビデオ又は第1類医薬品の販売従事実績を持つ薬剤師） ・『イノセアバランス（トロキシピド）』新成分につきビデオを用意 ・『パブロン点鼻クイック（ケチフェンフマル酸塩、ナファゾリン塩酸塩）』資料用意
第3講座	【④薬事関係法規・制度、⑤医薬品の適正使用・安全対策】 行政担当者から。厚生労働省の話を「全国統一薬事講習会」に位置づける。
第4講座	【⑦登録販売者として求められる理念、倫理、関連法規等】 以下の候補の団体による講義のビデオ i. 全国消費者団体連絡会 ii. 認知症支援を理解するための講義をお願いできる団体

第3次研修における「B講座」の特色とお願い

（一）「B講座」の範囲

主に以下の分野を学習対象とします。

- ④薬事関係法規・制度
- ⑤医薬品の適正使用・安全対策
- ⑥リスク区分等の変更があった医薬品
- ⑦その他登録販売者として求められる理念、倫理、関連法規等

これらの分野では、体制省令で策定を求められている「一般用医薬品の適正販売等を確保するための指針および手順書」関係事項（「健康被害者救済制度」も含む）が重要です。生涯学習の機会に、都道府県の薬務行政のご担当者にも相談されるなどして、十分な研修機会の確保をお願いいたします。

“⑥リスク区分等の変更があった医薬品”に関する研修は、全員に対してタイムリーに周知することが望ましいので、使用上の注意等の内容も含め、B講座の中で学習します。全薬協で製造販売業者・発売元制作のビデオを用意します。

なお、店舗販売業勤務の登録販売者に限らず、薬局などの登録販売者も研修に参加することを想定すると、講師への依頼に当たっては、一般用医薬品販売に関して業態ごとの異同や、管理者の場合とそうでない場合の違いを簡潔に整理してお話をいただくような工夫・配慮を合わせてお願いいたします。

（二）テキストは全薬協で用意します。

（三）時間は2講座で1.5時間とします。確認テストの実施時間を含みます。